



横手市

平成18年1月15日発行

2006  
第2号

# 議会だより



昭和40年から続いている横手剣道スポ少の元朝もうで(横手神明社)

## 今月の主な内容 CONTENTS

- 12月議会の議決事項…………… 2P
- 一般質問…………… 3～9P
- 議案審査から…………… 10～11P
- 今議会のお話…………… 12P



YOKOTE CITY

謹賀新年

# 過疎地域自立促進計画案

## などを可決

12月定例会が12月6日に招集され、22日までの17日間の会期で開催されました。会期中は市長所信説明、14人の一般質問、委員会審査が行われ、新市の発展を願う熱い論戦が展開されました。

今定例会には助役、監査委員、公平委員会委員などの人事案件、条例改正案、過疎地域自立促進計画案、一般会計及び特別会計補正予算案など合計76議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

## 助役に石川氏

監査委員は

谷口氏と高橋氏

助役に石川耿一氏（横手・58歳）を選任したいとする同意案件が提出され、全会一致で同意しました。石川氏は旧横手市収入役。

また、監査委員には常勤監査委員に谷口勇氏（横手・67歳）を、議会選出監査委員に高橋謙氏（十文字・55歳）を選任したいとする同意案件が提出され、いずれも全会一致で同意しました。

なお、次の人事案件もすべて全会一致で決定、同意しました。

▽人権擁護委員候補者

内藤義明氏（大森・66歳）、信太耕三氏（十文字・67歳）、高橋ミヨノ氏（十文字・69歳）、堀田厚氏（十文字・62歳）

▽固定資産評価員

石川耿一氏（助役）

▽公平委員会委員

近江直人氏（横手・39歳）、大友厚氏（大森・64歳）、大木紀子氏（十文字・44歳）

一般会計・2億5千万円を減額、予算総額は328億円に

一般会計は地方交付税、国庫支出金、諸収入等をおよそ2億5千万円減額補正しました。

一方、追加補正となった主なものは次のとおりです。

\*施設名称等表示変更事業

2,083万2千円

\*保育所運営費

7,656万9千円

\*まちづくり交付金事業

4,677万9千円

また、国民健康保険特別会計をはじめとする22の特別会計も、それぞれ補正しました。

## 【議決された条例等】

- ・専決処分の承認を求めることについて（3件）
- ・議会の委任による市長の専決処分事項の指定について
- ・横手市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ・横手市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（2件）
- ・横手市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例（2件）
- ・横手市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・過疎地域自立促進計画について
- ・横手市定住促進住宅条例
- ・横手市大森町中心部活性化施設設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市山内ふれあい交流センター設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市大森町生きがい創作館設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市増田休養施設「真人山荘」設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市十文字町健康福祉センター設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市十文字共同福祉センター設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市増田「りんごの里」物産館に関する条例の一部を改正する条例
- ・横手市地域種苗センター等設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市農林産物加工施設設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市国産材需要開発センター設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市集落多目的共同利用施設等設置条例の一部を改正する条例
- ・横手市営住宅設置条例の一部を改正する条例
- ・字の区域の設置について
- ・字の区域及び名称の変更について
- ・市道路線の廃止について
- ・秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- ・秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について
- ・平成17年度横手市国民保養センター三吉山荘特別会計への繰入れについて
- ・平成17年度横手市山内地域簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
- ・公の施設の指定管理者の指定について（7件）
- ・議会制度改革の早期実現に関する意見書について
- ・「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書について
- ・社会保障制度充実と最低保障年金制度創設を求める意見書について



## 来年度の予算編成は

塩田 勉 議員

### 18年度予算編成の基本方針について

**質問** 来年度の予算編成にあたっては、従来にもまして行財政の簡素効率化と経費の節減合理化を進める必

要がある。そして、限られた一般財源の重点的かつ効率的な配分に努め、節度ある財政運営が求められている中で、新市建設計画と過疎自立計画で取り組む事業内容、そして地域の均衡あ

る発展のため新規目玉事業の内容を伺いたい。なお、除雪体制の整備について併せて伺いたい。

**答弁** 新市建設計画は、過疎自立計画を包含している中で、重要性、緊急性の高

いものから財政を勘案して実行して行きたい。なお、新市総合計画を18年12月まで作成するが、地域住民の要望を十分考慮に入れて作成したい。そして、地域性を考慮して地域局ごとに予算配分するが、地域の特徴、独自性が生かされたものになるかと考えられる。

除雪体制であるが、今年以降雪が早く、不意を突かれた感があったが十分な工夫と、連絡を密にして住民の最大関心事に応えたいと思っている。

### 職員の給与格差の是正について

**質問** 合併協議会でも問題になったように、職員の給与格差はラスパイレズ指数で最大12ポイントの差がある。士気に係わる問題である。どのように是正していくのか。

**答弁** 一気の是正は財源、住民感情のうえで無理ではあるが、合併した住民の意をも心掛け、住民へのサービスの対価であることを忘れず、いろいろな手法を用いて早期に是正したい。



## 区長は必要か

高橋 勝 義 議員

### 所信説明について

**質問** 徹底したコスト削減を図ろうという中で、区長は必要か。区長設置には多額な経費が掛かるし、現在

の地域局次長で十分だと思

うがどうか。  
**答弁** 区長についてさまざまな意見があるのは承知している。合併協議会の中であれだけ議論を重ねてもんだ挙句、それぞれの機関で

承認をいただいた事案である。各地域が独自に光輝いてまちづくりを進めるためにも、区長というのは一定

期間必要だと思っている。役割を担う区長はしっかりと選任させていたきたいと

考えている。

### 地域局行事について

**質問** 後三年の役9200年祭を地域おこしとして実施してみてもどうか。

**答弁** 後三年の役は清原一族の内部から起きた戦いであり1083年から5年間当地方で戦が展開された。これが奥州藤原氏の出現のきっかけになったと思っ

ている。  
昭和61年に900年を節目とするものを行い、旧仙南村、旧雄物川町、旧横手

市や岩手県の関係自治体と  
いろいろな関係を保っている。  
そして平成2年には後三年の役サミットなどを行なってきた経緯がある。サミット終了後は旧仙南村と連携して駅伝、ウォーキング大会などを実施してきた。来年度は歴史文化団体等と協議しながら、920年にあわせた行事を何とか実施したいと思っ

その他の質問事項

・小中学校の統合について



## 多くの人に 利用される道の駅に

赤川 堅一郎 議員

### 道の駅（十文字地区）計画について

**質問** より多くの人に利用される機能を持った施設となるよう、計画段階から地域の各種グループ等、各界

各層を巻き込んだ計画づくりが必要だ。将来の経営を確かなものにする慎重な計画を望むがどうか。

**答弁** これまでも各界各層の代表からなる検討会を設置し議論を重ねてきた。そ

の中で、休憩所と物産販売施設を一体化させ交流ホールとすると、直売所に加工所も併設すると、防災機能もつけたら等々、特色あるものにするべく議論をしている。全市一体の事業

として関係各部との推進会議を立ち上げた。同時に地域の方々の理解と協力と参加が必要であることを受け止め議論を深めて行きたい。

### 横手市連合婦人会 （仮称）について

**質問** 新市の連合組織を発足すべく準備がなされているようだ。会の運営に支援を求め当局並びに我々議員に対し要望書が提出されている。現時点における教育委員会の見解を伺いたい。

**答弁** 活動運営の財政支援と事務所確保を希望されて

いる。実践活動を通じて家庭や地域社会の福祉、文化の改善向上に大きな役割を果たしている婦人団体の健全な発展を奨励、援助して行きたい。財政支援については他の社会教育団体との均衡も考慮しながら強力な支援を図って行く。事務所については他の社会教育団体も考慮し、総合的な事務所として検討しなければならないと思う。

その他の質問事項  
・ 所信説明について  
・ 雇用促進対策について  
・ 児童の安全対策について



## 国保税は どれだけ上がるのか

齋藤 光司 議員

### 国民健康保険税について

**質問** 旧自治体ごとの税率格差が大きい中、なぜ合併後3年間という短期間で均一化なのか。また、賦課額

の均一により現状より値上げ幅はどれぐらい想定されるか。

**答弁** 合併と同時に均一化が望ましいとの議論もあったが、納税者負担の激変緩和を図るため、合併協定に

基づき3年間で段階的に均一化を図ることにした。21年度の税率試算では、最高の増額が平鹿町で1万8,925円高くなり41・31%の増、最低は大雄で5,891円高くなり10・41%

の増となる。できるだけ引き上げ幅を縮小したいが、税率は医療費の動向や課税所得の状況によって大きく変動するので苦慮している。

**質問** 保健事業の自身と国保税軽減への具体策を伺う。

**答弁** 国保特別会計での事業は人間ドック、脳ドックを中心に実施する。税軽減の具体策としては生活習慣病予防やがん予防についての健康講座、栄養学習会、体力づくり、また、健康診査の結果に基づいた個別の指導や相談を実施し、疾病の予防や早期発見、早期治

療に努め、医療費を抑えたい。  
**質問** ジェネリック医薬品（後発医薬品）の積極的な導入を図ってはどうか。  
**答弁** 18年度診療報酬改定の基本方針では、後発医薬品の使用促進のため、環境整備の方策について検討すべきであるとしている。ジェネリック医薬品の使用は、医療費の増加を抑える効果があると考えている。

その他の質問事項  
・ 雇用の創出について



## 消防分署は市の端に

木村 清 貴 議員

### 消防・救急体制について

**質問** 救急車両の到着時間で見れば、僻地と中心地では大きな不均衡があると思われる。搬送時間短縮を考

えれば、緊急車両の配備、分署の配置は市の端に置いたほうが効率的とも考えられる。全市に10分以内に到着するように設備を配置すべきと考えるがどうか。

**答弁** 救急車の配備については国の指針に基づくほか、地域救急需要等を勘案しながら、年間3千件を超える救急事案に対応している。分署の配置を中心部より遠い位置にすることなどの提案は、相当考える必要がある

アイデアを頂いたと思っ  
て、議論したもので  
ないが、特区制度等  
を活用し、簡単な設  
備で迅速な搬送業  
務を担えないかと思  
っている。詰めてみ  
たい。

### 道路改良について

**質問** 市長の所信説明の中で「平鹿総合病院の開業にあわせ、アクセス道路を整備することに、患者の輸送時間の短縮などを支援する」とあるが、救急体制に大きな障害となっているのは、郡部の曲がりくねった道路

であり、この改良も平行して進めるべきと思うがどうか。  
**答弁** 道路整備はさまざま機能の位置づけをしながら整備している。中でも緊急、救急に対応する道路整備は大きな位置づけとなる。現在、3地区の連携を取りながら緊急対策の位置づけで整備している事業もあり、今後こうした取り組みを順次進めていきたいと考えている。

その他の質問事項  
・ 所信説明の中の「均衡ある発展」の意味について  
・ 本庁部局と地域局の関係について



## 子どもを守る活動は

立身万千子 議員

### 安全安心まちづくりについて

**質問** 子どもたちへの凶悪事件が多発している。子ども自身があらゆる暴力から身を守るために作られたC

APプログラムが新聞で報道されていた。市でもこのCAPプログラムの出前講座を行なう団体が、今年から活動を始めているようだが、その活用を教育委員会ではどのように考えている

のか。  
**答弁** 痛ましい事件が多発し、子どもたちを守ること  
に苦慮している。今までは  
弱い立場の子どもたちをど  
う守るかに視点が置かれて  
いたが、CAPプログラム

### 男女共同参画行動計画について

は子どもたちの行動を規制するのではなく、本来持ち合わせている生きる力を引き出して、問題を解決していく力を育むプログラムといわれている。防犯には多面的な取り組みが必要なの  
から、今後活用していきたいと考えている。

**答弁** 市として18年度には職場環境改善学習会を実施していきたいと思う。  
また、市が特定事業者としての行動計画については現在策定していないが、素案はできているので、年度内に策定できるよう細部を詰めているところだ。

**質問** 男女共同参画行動計画の中で、事業所として市役所のファミリーフレンドリー企業計画への取り組みは。

その他の質問事項  
・ 子育て支援について  
・ 健康づくりについて  
・ 道路網の整備について  
・ 地域要望について

# 子どもの安全確保に全力を

土田 百合子 議員

## 安全対策について

**質問** 安全と安心のまちづくりのために仮称「市民生活の安全条例」を制定すべきと考える。子どもの安全確保については、昨年秋田県内の小中学校で不審者に声を掛けられたり、抱きつかれた事例が78件で、犯罪が増加傾向にある。このため、危険を知らせる防犯ブザー、公用車に「子ども110番」のステッカー、子どもへの暴力防止のCAP教育プログラムなど、さらなる安全対策の推進を願う。

また、子どもの安全を脅かす不審者等の情報については、携帯電話や電子メールなどで市民に配信できる体制確立が急務だと思うがどうか。

**答弁** 仮称「市民生活の安全条例」



## 福祉行政について

は旧増田町で制定していたこともあり、参考にして十分に検討したい。子どもの安全対策の防犯ブザーについては全児童に配付する方向であり、不審者の情報については希望する保護者に提供したい。

**質問** 障害者自立支援法が可決された。障害を持つ方々の不安と困りごとは障害の種類によつて異なり、身近な地域でサービスを利用しやすい環境づくりが望まれる。聴覚に障害を持つ方のための耳マーク、人口肛門の方のためのオストメイトトイレの設置の推進について考えを伺いたい。

**答弁** 自立支援法では障害を持つ方の社会参加、自立をいかに支援していくかが求められている。障害者用の耳マークについては横手地域局に設置しているが他の地域局にも配備したい。オストメイトトイレの設置は市障害福祉計画の策定の中で検討したい。

その他の質問事項  
・教育行政について

# 受注希望方式の入札制度を見直せ

奥山 豊 議員

## 入札制度について

**質問** 19年度から全市を一元化し、旧横手市の受注希望方式の入札制度を旧7町村に導入するとあるが、地元企業の育成、雇用の確保、地域経済の活性化という観点から、地元でできることは地元でできるような方式が望ましいと思うがどうか。

**答弁** 建設業界への配慮と位置づけ、税金の透明性・公平性、コスト縮減の3点のバランスを考慮する必要がある。旧横手市でも議論されてきた。この制度は全国的に浸透してきている。18年度の経過措置で、他の方法も含め議論し、理解を求めながら19年度導入を目指し推進していく。



## 学校教育について

**質問** 少子化は国の存亡に係わる重大な問題だ。横手市でも少子化が加速を増して急速に進む。小中学校の再編対策はどうなるのか。また、将来の横手市を担う人材の育成についてどのように考えているのか伺いたい。

**答弁** 今後5年間で、市内小中学校の児童生徒は1200人減少する見込みとなっており、学校統合、通学区の見直しは避けて通れない問題だ。小中学校の通学区域内に諮問委員会を早期に設置し、意見を参考にし統合整備を進めて行きたい。

人材の育成は学力向上が必要であり、市独自に指導主事を置き、教職員の指導力強化に努め、小学校にもALTを設置したい。

その他の質問事項  
・旧8市町村の均衡ある事業推進について  
・農業政策について  
・災害防止対策について  
・施設整備について  
・横手駅前周辺地区の整備について

## 平鹿病院への アクセスを検討すべき

土田 祐輝 議員

平鹿病院開業に伴う  
バス等のアクセスについて

**質問** 開業間近となった平鹿病院へのアクセスが大きな問題になると思う。交通手段を持たないお年寄り等に配慮したバス路線の組み入れなど、交通網の再構築を検討すべきでないか。

**また**、市内環状線が開通したいま、市役所から平鹿病院を経由して、旭小学校から朝日が丘団地へと市内循環バスを走らせることで、一部スクールバスとしての機能も果たせると思うがどうか。

**答弁** 平鹿病院は路線バスが正面玄関に乗り入れできる設計になっ



ている。今後、羽後交通と協議して乗り入れできるようにし、住民の利便性を高めるようにしたい。また、市内循環バスについては一部路線バスと競合するので、可能かどうか検討したい。

野球場の整備について

**質問** 県内で評価の高いグリーンスタジアム横手の唯一の難点は、選手名を電光表示できないことだ。新市建設計画に3千万円の事業費は盛り込まれているが、事業実施時期は定かでない。全国規模の大会に間に合うように、球速表示施設を含めて早急に整備すべきと思うが見通しはどうか。

**答弁** 18年度当初に予算計上可能かどうかを検討し、できるのであれば予算計上したい。

その他の質問事項

- ・市長の政治姿勢について
- ・指定管理者制度について
- ・バイオマスの今後の取り組みについて
- ・通学児童の安全対策について

## 一般質問

## 地域産品マーケティング の内容とは

小笠原 恒男 議員

農業と行政との  
関わり合いについて

**質問** 新市の基幹産業は農業である。今までの農業への関わり合い（助成は、主としてハード面が主であった。今後は、生産はもちろさん、販売助成に力点を置き、可処分所得の増加に努めるべきと考える。このことは地域経済の活性化につながる。

**市長が提案している「地域産品マーケティング推進準備事業」では、農家所得に結びつく役割を市が積極的に担うとあるが、この提案の概要を伺いたい。**

**答弁** 地域の特徴を生かしながら



「担い手・集落営農組織の育成」に全力で取り組み、農家所得の向上を目指し、多様化する農業に地域特産品の販売をからませ、強い農業に育てる。消費者の視点での地域農業・農産物を見直し、今までにないものを売り、作り、アレンジする、マーケティングマネージャーのもとに準備室を開設し、横手市農業を積極的に推進する事業である。

障害者福祉について

**質問** 18年4月に障害者自立支援法が施行される。19年3月までに市では「障害福祉計画」を策定しなければならない。現在、横手市では通所授産施設1カ所、小規模作業所1カ所の2カ所のみで、入所希望者に十分な対応ができない状態にある。計画のアウトラインを伺いたい。

**答弁** 計画作成の途中ではあるが通所施設の不足は十分認識している。社会参加への積極的な支援、障害者への新たなサービスメニューを十分考えて行きたい。

## 病院跡地の利用計画は

石井正志 議員

**横手駅周辺の整備と再生事業について**

**質問** 平鹿病院跡地の利用計画に再開発事業の成否がかかっている。この事業に協力的な地区住民も「強力にマグネットパワーを發揮してくれるものを」との期待が強いが、具体的な説明を求める。

**答弁** 今年度に横手駅前活性化検討委員会を設置し、基本プランを作成する作業を進めてきた。整備すべき機能として行政としてはNPOや社会活動団体、健康づくり、子育て支援の拠点や図書館、情報センターなどが考えられる。民間では市民によるバザール、お土産品販売コーナー、朝市、起業支援



等の施設が考えられるが、再開発協議会や関係者との連携のもと今後も検討を加えたい。

なお、平鹿病院跡地については市が取得することで平鹿病院との協議に入っている。

**質問** 東西自由通路についてJR東日本との協定はいつ頃締結されるのか。改築される駅舎は橋上駅ということとJR側と確認はなされているのか何う。また、どのような西口広場なのか。ぜひ余裕ある駐車場が必要と思うがどうか。

**答弁** JRとの協定は18年度末には基本的な覚書を締結したいと考えている。自由通路については跨線橋案を前提とし、一部橋上化駅で検討している。

西口広場は交通便利性の向上を主目的に整備する予定で、駐車場を含む具体的内容及びレイアウトは、関係交通機関と協議中である。

その他の質問事項

- ・五十嵐市政について
- ・少子化対策について
- ・道路網の整備について
- ・地域要望について

## 第三セクターの見直し急げ

上田 隆 議員

**第三セクター施設の今後の経営方針について**

**質問** 第三セクターの経営状況を見ると、総じて極めて低レベルの当期利益しかなく、一方、大きな負債を抱える施設もあるなど、厳しい経営を強いられている。現状をどう認識するかを踏まえ、経営責任と資金の分担、経営や決算情報の開示、チェックシステム、今後の事業の整理・統合や外の経営形態への移行などをどのように考えているか。

**答弁** 第三セクターについてはいろいろと問題があると思っている。



その理念や目的、方向性は原点に立ち返りながら組織のあり方を再検討していきたい。また、採算面においては、黒字、赤字を含め、個別に検討しながら、組織の整理統合、経営形態の見直しに取り組みむつもりだ。今年度中に方向付けするように指示していきたい。

**大森地域統合小学校 建設について**

**質問** 大森地域統合小学校の建設は、新市建設計画に大森町の最重要施設として取り上げられた事業である。市の財政状況も逼迫した状況にあるが、少子化の教育にもたらず影響は切実なものとなっており、学校の活力の維持、子どもたちへの十分な学習環境の保持の観点から、横手市過疎地域自立促進計画の着実な実施を望みたい。

**答弁** 早急にやらなければならぬ事業だと捉えている。近々、諮問委員会を立ち上げ、大森町をはじめ多くの市民の意見を聞き進めていきたい。



# 優先課題は企業誘致だ

佐々木 誠 議員

## 企業誘致について

**質問** 地域経済の活性化、雇用の創出・確保、また、広大な横手第二工業団地の有効利用のためにも企業誘致を優先課題として、熱意ある取り組みをしていくべきと考えるがどうか。

**答弁** 企業誘致するときには、誘致する側と企業側の論理があると思うが、誘致する側、すなわち行政側の論理からいえば、困っている背景を述べながら、「来て欲しい。来てくれれば助かる」という



論理と都合と政策がある。一方、企業側の論理として「魅力のある地なのか？経済的なメリットがあるのか？」であり、従来の誘致活動はそういうもやもやの気持ちの中での活動であったと思う。

この地の強みは何なのかと考えたとき、県内でも有数の自動車関連産業の集積地であることだ。トヨタが隣県に進出される。我が方の態勢を整備する中で、進出する側の理屈に合った整備ができれば、見通しも明るいのではないかと期待しているところだ。

従来型の企業支援策では難しい状況になっていると認識している。担当者の溢れんばかりの熱意と情熱は大切なことと承知しているが、この地域の有利性を確保するための態勢整備をして、腰の据わった企業誘致活動をしていくつもりだ。

# 間口の除排雪にも気配りが必要

佐藤 誠洋 議員

## 除雪体制と

## 福祉行政について

**質問** 市長は気配りの除雪体制づくりを進めるとしている。一方で、高齢者世帯や一人暮らし世帯の除排雪や雪下ろし対策の問題がある。こうした世帯は急増しており、間口の除排雪にも気配りが必要だと思ふ。新市の支援対策は旧横手市の例にない65歳以上の一人暮らし、身体障害者、母子家庭が対象となっているが、高齢化社会が進む中、支援に要する金額が膨大となる危険性もあるがどう考えるか。除雪は、市民の協力なくしては成り立たない。NPOやボランティア団体との連携を図る中で、



協働のまちづくりの精神の醸成を行うことが大事で、それらを行うための庁内の改革なども新市の重要課題の一つかと思うがどうか。

**答弁** 除雪支援については、雪下ろし189名、間口等除排雪に229名から申し込みがあり、今後さらに増えるの見込んでいる。支援費増大の件だが、最小のコストで最大の効果を得るためにも、施策の検証を行う必要があると思ふ。だが、新市としてスタートしたばかりなので、少しの間状況を見る時間を与えてほしい。

また、これからは複数の課にまたがる事案については、連携というものは違う、新しい組織の仕組みというものを考えていかなければならないと思う。面で捉えた地域の課題をくみ上げるというスタンスと、ニーズごとに対応するスタンスと両方持たないと、これから行政は住民に喜ばれる仕事はできにくいと思っている。

その他の質問事項  
・市長公約の特産品販売課の具体的事務分掌について  
・地場産業支援対策と発酵のまちづくりについて

# 一般質問

# 総務

## ● 過疎地域自立促進計画について

**質疑** 膨大な事業量で、しかも平成21年までという期限がある。仮に21年まで事業が終了しない場合、繰越等ができるのか。

**答弁** ポスト過疎がどうなるか分からないが、5年間のうちに優先順位をつけながら、財政力の範囲内でやれるものからやっていく。残った事業については、この後協議したい。

**質疑** 事業主体が秋田県や土地改良区、JAもある。優先順位は当局で判断してつけるのか。

**答弁** 秋田県等とあるのはほとんど負担金の類であつて、我々とは別のサイドで決まっている部分である。市の部分については過疎計画だけではなく、新市建設計画もあるし、これから策定予定の市の総合計画、そ

れから各課で所管しているその他の計画もあるので、総合的に判断して、市の政策決定の機関である部局長会議や政策会議で協議することとなる。必要に応じては議会の方にもご相談することとなると思う。

## ● 一般会計補正予算(第1号)

**質疑** 市のバスをスポーツ少年団が使用することを一切認めないという方向のようだがどうか。

**答弁** その件については検討中である。内容によっては市との共催事業として捉えられるものもあるかと思う。ただ、普段の練習に使うということでは使用できないと思う。交流大会などといった場合はケースバイケースであろうと思う。

**質疑** 市長車を補正予算で買わなければならない緊急的な理由は何か。

**答弁** 検討の結果、市長車はできるだけ乗用車タイプでなくて、機動性が高いもの、しかも環境にも配慮した車がよいということ、災害時のことなども考慮し早めに対応すべきと考え今回補正予算をお願いした。



# 厚生

## ● 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

**質疑** 国保税を3年間で均一課税することの調整方針について伺いたい。

**答弁** 算定の基準であるが、17年度の所得割、均等割、平等割の平均を出し、18年度はこの平均値より低い地域は所得割で0・8%を限度として引き上げ、高い地域は据え置きとする。また、高い地域も19、20年度は0・6%を限度として引き上げすることとし、平成21年度まで完全なる均一化を図ることとした。また、応能、応益負担の割合は補助金にも影響を及ぼすので、この割合を5%以内に抑える方針である。医療費も各年度伸びると想定しているが、基金関係は2億円程度しかなく、これを取り崩す考えは持っていない。また、一番肝心の医療費を抑えるた

めには、保健事業や医療費の適正化を進め、さらには国保税の収納率を高めて、被保険者の負担を少なくしていきたい。

**質疑** 旧市町村における国保税の収納率の差について伺いたい。

**答弁** 旧横手市が一番低い状況である。全国的に都市化しているところは収納率が低くなるようだ。旧横手市では、管理職が国保税を中心に個別訪問するなど徴収に回ったが、効果があがっていない。どうすれば収納率を高めるかは、なかなか難しい問題である。今、医療費を抑制させていくというトータル的な考えも必要ではないかと思っている。

**質疑** 各地域局での生活保護相談の対応について伺いたい。

**答弁** 地域局の福祉保健課が生活保護の直接の窓口であり、地域局で相談に応じている。しかし、地域局では対応できない場合は、本庁のケースワーカーがすぐに出向いて、市民サービスを低下させないようにしている。

# 産業建設

## ● 公の施設の指定管理者の指定について

**質疑** 急いで指定する理由と利点は何か。

**答弁** 指定管理料を三年間で年々減らす計画であり、委託契約と比べトータルで30万円のメリットが出る予定である。また、不足分は利用料による収入を増やすため、同社が様々な企業努力により補う事になり、結果的に地域の活性化につながるかと考えている。

## ● 一般会計補正予算(第1号)

**質疑** 集落営農の進め方は、**答弁** 平成18年度から本格的に実施したく、今年度は足掛かりと考えている。まだそれぞれの集落の状況を十分に把握していないので、各地域局やJAとの連携を踏まえ、推進方法を準備

してまいりたい。  
**質疑** 厳しい農政情勢の中で、過去の分析と今後の戦略は。

**答弁** 夢プランの過去の分析については各地域局毎に実績報告等がまとまっており、それらを精査しながら生かして行きたい。新規就農者についてはフロンティア農業研修制度があり、県の補助や市単独の補助があるのでできるだけ活用したい。小規模農家については兼業化が進んでおり、これからの農業経営を考えると集落営農を進めて行くしかないと考えるので、農家の協力を求めながらやっていきたい。また、これからは米一本では厳しい面がある。米価が下がっていく中で、複合的な経営について積極的に進めていきたい。

**質疑** 除雪体制はどうなっているのか。

**答弁** 10センチ以上の積雪による出動は各地域局ごととなっており、地域局の境目については、連携をとって行っている。今後いっそうパトロールを強化し、万全を期したい。

# 議案審査の中から

常任委員会での議案審査の中から、主なものをお知らせします。

## ● 一般会計補正予算(第1号)

**質疑** 学校開放の際の利用者の燃料費の負担基準について伺いたい。

**答弁** 学校開放の際、燃料費は応分の負担をいただいているが、負担を求めず暖房を利用させてきた地域もある。新年度からはルールを決めて対応したい。

**質疑** 体育館などの使用料について、各地域及び施設ごとで違っているがどうか。

**答弁** 地域の各体育館や施設の使用料は、旧市町村の条例を生かした形で社会体育施設設置条例を作った。これにより使用料が各地域によって違うということになった。

**質疑** 学校統合や通学区の検討、諮問委員会の設置など、地域の問題について説明を求めたい。

**答弁** 通学区の見直しは4地域だ。統合が考えられる地域の小中学校は、横手、雄物川、十文字、大森、大雄である。今年中に通学区域諮問委員会を設置し、来年8月を目処に一定の方向に進めていく方針である。

## ● 一般会計補正予算(第2号)

**質疑** 学校の防犯体制と防犯カメラの設置状況、防犯ブザーの配布はどのようになっているのか。

**答弁** 防犯体制は、地域ボランティアとの連携や来校者の名札着用等に対応している。防犯カメラは38校中19校が設置済だ。現在、危険箇所も織り込んだ危険マップを作成しているが、防犯体制の見直しは随時行ってきたいと思っている。防犯ブザーはまだ1,000人ほど未配布なので、今後予算化し全員に配布する計画だ。

**質疑** 不審者に関する情報はどれくらいあるのか。

**答弁** 今年4月から10月までの不審者情報は、具体的に危険な目にあつた事例として、7件掌握している。

# 文教

### 採択となった陳情

- ・上内町第一種低層住居専用地域指定の建ぺい率改正方について  
 横手市上内町 上内町当該地域住民代表 長井 一 外29名
- ・社会保障制度充実と最低保障年金制度創設を求めることについて  
 秋田市山王 全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 藤田 實 外2名
- ・安心でゆきとどいた医療・看護をするために、看護職員の人手不足の緊急改善を求めることについて  
 秋田市中通 秋田県医療労働組合連合会執行委員長 中村秀也
- ・子宮頸がん検診の逐年施行について  
 秋田市本道 日本産科婦人科学会秋田地方部会会長 田中俊誠 外2名
- ・横手市大沢前田地域『一部危険箇所』の改善対処について  
 横手市大沢 横手市東平和町町内会長・横手市東平和町内会地域安全の会会長 伊藤虎太郎 外1名
- ・地方交付税、地方財政の確保を求めることについて  
 横手市四日町 日本自治体労働組合連合秋田県本部副中央執行委員長 井関由紀夫 外1名
- ・高齢者センター前の横断歩道に『押しボタン式信号機』の設置について  
 横手市横手町 横手市老人クラブ連合会会長 伊藤幸一 外1名

# 五十嵐市長、8人の区長を選任

五十嵐市長は12月22日の議会閉会直前に発言を求め、地域自治区の区長8人を選任したいと報告しました。発令は18年1月1日付けで任期は2年。

区長の設置は合併協議会の合意事項で、それぞれの地域で合併による急激な変化や不安感が増大することのないよう、住民の意見や要望を市政に反映させながら、地域の良さや特徴を生かした地域主体のまちづくりを進めるために設置するものです。

- 横手区自治区長 伊藤喜代美氏 (前横手市理事・59歳)
- 増田町区長 高橋 誠氏 (前増田地域局次長・57歳)
- 平鹿町区長 柿崎洋悦氏 (旧平鹿町教育長・70歳)
- 雄物川町区長 皆川捷悦氏 (旧雄物川町収入役・67歳)
- 大森町区長 佐々木 一氏 (旧大森町総務課長・65歳)
- 十文字町区長 田中邦廣氏 (前十文字地域局次長・58歳)
- 山内区長 大和正治郎氏 (前山内地域局次長・59歳)
- 大雄区長 横井新蔵氏 (前大雄地域局次長・59歳)

## 今議会の話題

### 市長車と議長車 購入に反対 修正案出すも 否決

定例会最終日の12月22日、一般会計補正予算(第1号)に対する減額予算の修正動議が出されました。提出したのは立身万千子議員他2名。提案説明の中で立身議員は「市長車と議長車の購入に賛成しかねる。合併の主目的は行財政改革、無駄遣いをしないということ。慎重な施策決定が求められる」とし、補正予算の総額からおよそ1千万円の減額を求めました。

質疑、討論では「広大な市となり、機能性に富んだ車はやはり必要だ」「せめて当初予算まで待てなかったか」などの賛否両論が出ましたが、起立採決の結果、起立少数(8名)により修正案は否決されました。なお、同補正予算は起立多数により原案どおり可決しました。

## 編集後記

日本海側を中心に大雪の様相です。本県も正月前としては異例の雪の多さで、この分では今冬は除雪体制の真価を問われそうです。

そんな中、12月6日から22日までの17日間、新市になって初めての定例議会が開催されました。一般会計や各特別会計補正予算のほか、人事案件では助役等の選任が行なわれ、また、定例会の華である一般質問には14人が登壇し、市長の所信説明や公約、そして市政全般に対し市当局の姿勢をたどりました。

広報委員会では、できるだけ迅速に、そして市民の皆さんに親しんで読んでいただける紙面づくりをコンセプトに編集を進めました。今後ともご愛読をお願いします。(上)



山内筏地区・比叡山神社の大松明時奉納相撲の様子 (1月1日午前0時半撮影)